

5 学年会・教科・部の努力目標

学年会努力目標

< 1 学年 >

- 1 基本的な生活習慣の確立
 - (1) けじめのある生活態度の育成（挨拶・時間・服装・携帯電話使用マナー）
 - (2) 清掃の徹底と環境美化の充実（ロッカーや机の中の整理整頓も含む）
- 2 将来の目標を見据えた進路指導の充実
 - (1) 進路研究の充実（類型選択・学問研究の指導）
 - (2) 養秀タイム（探究）の充実
 - (3) 養秀手帳（今未来手帳）を活用した指導の充実
 - (4) 大学入学共通テストに向けた取り組み
- 3 学習習慣の確立による学力の底上げ
 - (1) 家庭・自学学習の習慣化（週 1 4 時間程度の学習）
→ 平日 1 時間 30 分（すきま時間 30 分 + 自宅学習 1 時間） 休日 3 時間
 - (2) 模試の積極的活用
- 4 生徒の主体的な活動とホームルーム活動の充実
 - (1) ホームルーム討議の充実
 - (2) 生徒各種委員会の活性化
- 5 豊かな心の育成
 - (1) 高校生活のスタートとして各行事やホームルーム活動で級友や教師と協力する姿勢を養う。
 - (2) 日常生活の中で他者を思いやる態度を養う。
- 6 職員間の連携
 - (1) 担任間の連携、情報（進路・生徒指導）の共有化を図る。
 - (2) 担任と学年会（世話係、進路指導担当）との連携、学年会運営の活性化を図る。

< 2 学年 >

- 1 基本的な生活習慣の確立
 - (1) 清掃・教室整備と環境美化の充実
 - (2) けじめのある生活態度の育成（挨拶・服装・5 分前行動・携帯電話使用マナーの向上等）
- 2 学習と部活動の両立
 - (1) 家庭学習時間の確保（週 1 6 時間以上）→ 平日 2 時間、休日 3 時間
 - (2) 計画的かつ効率的に活動する自主性の育成
- 3 進路指導の充実
 - (1) 進路の早期決定に向けた面談の充実（3 年 0 学期の取り組み）
 - (2) 模試の積極的活用
 - (3) 総合的な探究の時間の充実
 - (4) 養秀手帳（今未来手帳）を活用した自己管理指導の充実
 - (5) 大学入学共通テストに向けた取り組み
- 4 ホームルーム活動の充実
 - (1) ホームルーム討議の充実
 - (2) 各種行事におけるリーダーの育成
 - (3) クラスの協働体制の確立

<3学年>

- 1 基本的な生活習慣の確立
 - (1) 自己の健康管理の徹底。
 - (2) 服装や身なりを正す。
 - (3) 清掃の徹底と環境美化に努める。
 - (4) 最高学年として責任ある行動をとる。
- 2 進路指導の徹底
 - (1) 希望進路実現のための実力養成に努める。
 - (2) 希望進路実現・現役合格に向けた生徒の意識高揚に努める。
 - (3) 個人面談を強化し、進路指導部・保護者との連携を密にする。
 - (4) 養秀手帳を活用した自己管理指導の充実
- 3 自主的に考え行動する力と、豊かな心の育成
 - (1) ホームルームや行事におけるリーダーを育成する。
 - (2) 各行事やホームルームでの自主的活動を支援する。
 - (3) 各行事やホームルーム活動で友人や教師と協力する姿勢を養う。
- 4 職員間の連携の強化
 - (1) 担任間・世話係の連携を強め、情報（進路・生徒指導）の共有化を図る。
 - (2) 担任・学年会（世話係、進路指導担当）との連携を密にし、学年会運営の活性化を図る。

各教科努力目標

<国語科>

- 1 3年間の見通しを立てた系統的な指導法の研究と実践
- 2 家庭学習の習慣化を図り、確かな学力を定着させる指導の工夫
- 3 図書館利用の推進・読書指導の強化
- 4 表現指導の強化（話すこと・聞くこと・書くこと）
- 5 新学習指導要領に即したカリキュラムの研究と、観点別評価の研究

<地理歴史科・公民科>

- 1 授業内容の精選と充実
- 2 視聴覚教材を活用した授業の研究と実践
- 3 新科目の研究と実践
- 4 地域学習の研究と実践

<数学科>

- 1 観点別評価の研究
- 2 授業・講座内容の充実と指導の強化
- 3 主体的学習習慣の確立（家庭学習）
- 4 習熟度別授業の研究と実践
- 5 模擬試験対策と分析
- 6 大学入試の研究

<理科>

- 1 効果的な授業の研究と実践（観点別評価の研究）
- 2 生徒の実態に即した教育課程の実践と改善

<保健体育科>

- 1 教科指導の充実・強化
 - (1)生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育成する
 - (2)体力の向上及び学力向上を目指し、自ら主体的に行動する生徒の育成に努める
- 2 基本的な生活習慣の確立
 - (1)服装・挨拶等マナー向上の指導及び強化を図る
 - (2)集団行動を通して機敏な動作と仲間との連帯意識の向上を図る
- 3 健康・安全教育の充実
 - (1)健康・安全についての理解と深化に努める
 - (2)安全管理や健康の保持増進のための実践力を育成する
 - (3)学習環境の充実に努める
 - (4)コロナ等感染症予防対策の徹底

<芸術科>

- 1 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てる。
- 2 主体的な学習態度を養う。
- 3 基礎基本の定着を図る。
- 4 学習環境の整備と安全管理を徹底する。

<英語科>

- 1 自発的な学習態度を養う。
- 2 英語の基礎学力の向上に努め、思考力・判断力・表現力を強化する。
- 3 LL教室及び視聴覚機器を効果的に活用する。
- 4 外国人教師（ALT）との効果的な授業の展開を図る。

<家庭科>

- 1 生活に必要な知識と技術の習得および家庭生活の充実向上を図る能力と態度を育成する。
- 2 新学習指導要領に向けての教育課程および学習内容の研究を行う。
- 3 学校家庭クラブ活動を充実させる。
- 4 学習環境の整備と衛生面および安全面の管理を徹底して行う。

<情報科>

- 1 情報技術を活用した授業内容の充実と指導方法を研究する。
- 2 情報活用に関する基本的な知識・技術の定着を図る。
- 3 情報モラルの向上と定着を図る。
- 4 情報関連資格検定試験を活用し応用力を高める。

<染織デザイン科>

- 1 染織工芸の基礎基本となる知識・技術を身に付ける。
- 2 制作を通し染織デザインの可能性と造形力を高める。
- 3 基本的な生活指導と進路実現指導を充実させる。
- 4 学科の特性を地域に還元する。

各部努力目標

<教務部>

- 1 部・学年・教科の効率的な機能に向けての連絡・調整する。
- 2 学校行事の精選と授業時数の確保を行う。
- 3 新学習指導要領に基づいた観点別評価の研究を進める。
- 4 成績処理や公簿作成等の方法の効率化を進める。
- 5 入試業務の検討と改善を進める。
- 6 国際交流プログラムの内容充実を図る。
- 7 学校・PTA・同窓会との連携を図る。
- 8 職員相互の福利厚生の実施を図る。
- 9 18歳成人に伴う校内規定の整備を進める。

<生徒指導部>

- 1 基本方針
 - (1)生徒指導の核となる担任との連携やサポートに努める。
 - (2)職員への情報共有や行事や巡回等の協力体制を整え、全職員で取り組む。
 - (3)交通ルールを守るとともに登下校を含め、校内外での安全確保に努める。
- 2 努力目標項目
 - (1)勤怠指導の徹底（基本的生活習慣の確立）
 - (2)身なり指導の徹底（社会で通ずる身なりや態度の育成）
 - (3)携帯・スマホの使用マナー徹底（ケジメを持つ事の大切さ）
 - (4)盗難防止教育（自分の物を自分で管理。戸締まりの徹底）
 - (5)交通安全指導
 - (6)問題行動（深夜徘徊・飲酒・喫煙等）防止指導

<進路指導部>

- 1 基本方針

すべての生徒に確かな学力および人間力を身につけさせて社会へ送り出し、生徒の多様な生き方の実現に向けての的確・適切な支援を行う。教師と生徒の信頼関係を縦軸とし、多面的な生徒理解を横軸としたきめ細かなキャリアカウンセリングを図り、低学年からの系統的かつ段階的な進路指導を行う。
- 2 重点取り組み目標
 - (1)大学入試に関する研究および全職員への情報提供
 - (2)総合的な探究の時間の充実
 - (3)実力テスト（スタディサポート）、スタディサプリ到達度テスト及び模試データの活用
 - (4)進路情報共有会の充実
 - (5)キャリアカウンセリングの実践
 - (6)各種講座の充実
 - (7)進路講演会の充実
 - (8)生徒・保護者への情報提供の充実

<環境保健部>

- 1 学習環境づくりと環境美化の推進
 - (1) 校内美化、緑化
 - (2) 施設・設備の整備と充実
- 2 健康・安全教育の充実
 - (1) 心身の健康の自主管理能力の育成
 - (2) 健康診断の徹底と生徒の健康実態の把握
 - (3) 学校事故防止及び救急についての意識高揚
- 3 校舎改築に向けて校内検討の推進

<教育情報部>

- 1 蔵書の充実と利用促進を図り、図書館の機能を強化する。
- 2 各教科との連携を強め、図書館利用の活性化を図る。
- 3 多様なメディアに対応し、ICTの活用を推進する。
- 4 図書委員活動の活性化を図る。
- 5 視聴覚教室・放送設備の整備・充実及び利用の促進・支援を行う。
- 6 コンピュータ教室等の整備・充実及び利用の促進・支援を行う。
- 7 校内LANと「校務支援システム」の円滑な運用と活用を図る。
- 8 セキュリティーに関する意識の涵養を図る。
- 9 学校ホームページの管理運用を行う。

<事務部>

- 1 事務職員研修会・担当者研修会への積極的参加
- 2 学校予算の適正、且つ効率的な執行
- 3 光熱水費、消耗品費等の有効活用
- 4 施設・設備の整備充実を図る
- 5 旧校舎解体工事に係る生徒・職員の安全の確保
- 6 就学支援金及び奨学のための給付金制度の周知徹底